

七福神扮して 会員に豆まき

岐阜RCが節分例会

岐阜ロータリークラブ

(RC)の節分例会が3日、岐阜市大宮町の料亭「萬松館」で開かれ、七福神に扮した年男・年女7人が豆まきを行い、出席した会員らが親睦を深めた。

約60人が参加。豆まきでは、入会60年になる杉山幹夫岐阜新聞社最高顧問や、櫻井宏J A岐阜中央会長、前岐阜大学長の森脇久隆、西厚生会特別顧問ら7人が、恵比寿天、大黒天、毘沙門天など七福神に扮し、



豆まきを行い、親睦を深めた節分例会
＝岐阜市大宮町、萬松館

手作りの宝船に乗って豆まきを行った。7人は「1年を楽しく過ごしたい」「みんなに福を配る」など思いを語った。

岐阜芸妓組合の芸妓らによる祝舞披露もあり、会員らは和やかに歓談した。

(岡部導智賢)